

変更後の認定事業適応計画の概要の公表

1. 変更認定をした日付

令和5年3月28日（令和4年9月6日認定）

2. 変更後の認定事業適応事業者の名称

株式会社ZOZO

3. 変更後の認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

近年の気候変動等、SDGsという観点から自社においても積極的に取り組み、企業全体としてCO2排出量の削減に取り組み、環境への負担を軽減していくことを目標とします。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度に事業適応を開始し、2023年度中に事業者全体として炭素生産性338.3%向上させることを目標とします。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023年度において、経常利益を計上することを目標とします。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

無店舗小売業（61）

インターネットを通じた衣類等の販売に要する商品保管倉庫の設備

(6) 事業適応の具体的内容

【習志野1】

インターネットを通じた衣類販売の物流拠点倉庫において、2015年8月から使用していたLED蛍光灯を埋込式照明であるLEDベースライトに交換する工事を2022年7月から実施します。従来はLED蛍光灯を9,386本使用していましたが、工事後は従来の半数の4,693本の見込みとなります。よって、年間の総電気使用量は10%以上の削減が見込まれます。工事完了時期は、2022年9月を予定しております。

また、空調設備のAIを活用したエネルギー・マネジメント・サービス（EMS-AI）の導入を検討し、2020年度に当該倉庫2階にて実証実験を行った結果、2019年度の電

気使用量に対して約30%の削減効果が認められました。2022年8月から当該倉庫全体の空調設備を従来品からEMS-AI対応品へと交換する工事を実施しており、2023年6月に引き受け、実稼働を予定しております。

【つくば3】

脱炭素化と今後の事業拡大に備え、つくば市に新たな物流拠点倉庫、BASEつくば3を設け、2023年8月からの稼働を予定しております。

従来、手作業で行っていた商品仕分け等の作業を自動化するとともに、消費電力に再生可能エネルギーを100%導入することにより、大幅な脱炭素化を見込んでおります。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2022年9月

終了時期：2024年3月